



Artificial Intelligence in the European Union

Anna-Maria Osula, PhD

Tallinn University of Technology / Guardtime

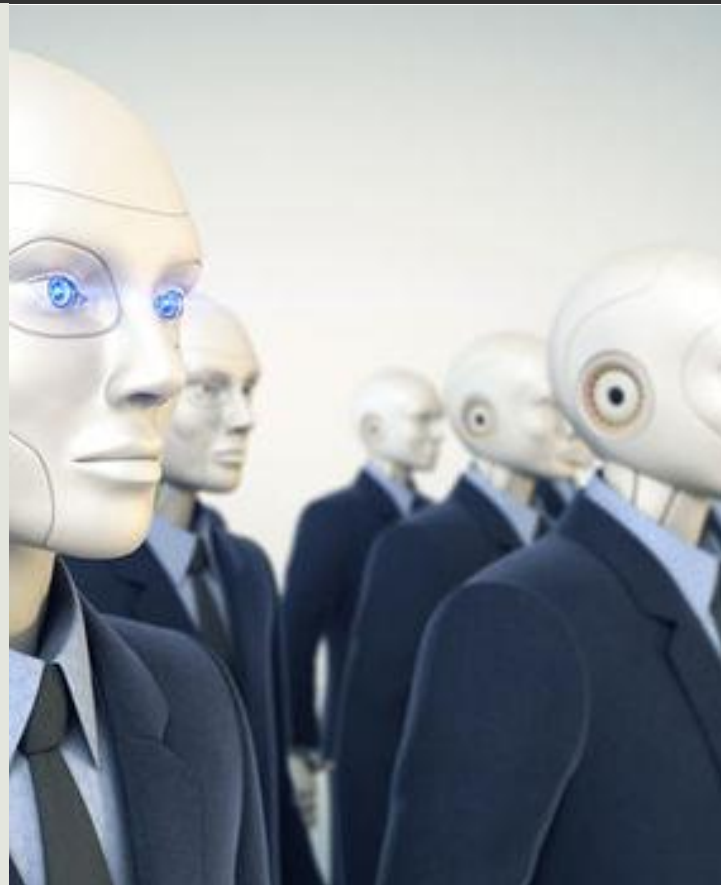
Tokyo November 2018

参考日本語訳

- "人工知能 (ai) は、環境を分析し、行動をとることによって、インテリジェントな行動を表示するシステムを指します-自律性のある程度の-特定の目標を達成するために" (EU の ai (2018) 237)

AI に焦点を当てる理由は？

- コンピューティングパワーの増大 + データの量と可用性 + アルゴリズムの進歩 = **21 世紀の最も戦略的な技術**
- AI は、私たちの社会を変革しています, 例.
 - 慢性疾患の治療
 - 交通事故の死亡を減らす
 - 気候変動との闘い
 - サイバーセキュリティの脅威を先取り



EU & AI

- 2018年4月 24MSs とノルウェーは、協力の宣言を締結
- 2018の終わりまでに調整された計画
- AI における官民投資の遅れ
 - 2017年の研究開発4-5 億ユーロ

なぜEUは野望を持つのか

- EU は AI 開発の世界的リーダーになることを望んでいる
- 世界クラスの研究者とラボ
- 強力な産業, ロボティクス
- デジタルシングルマーケット共通ルール
- 産業、研究、公共部門からの大量のデータ
 - データの再利用

EU のゴール (1)

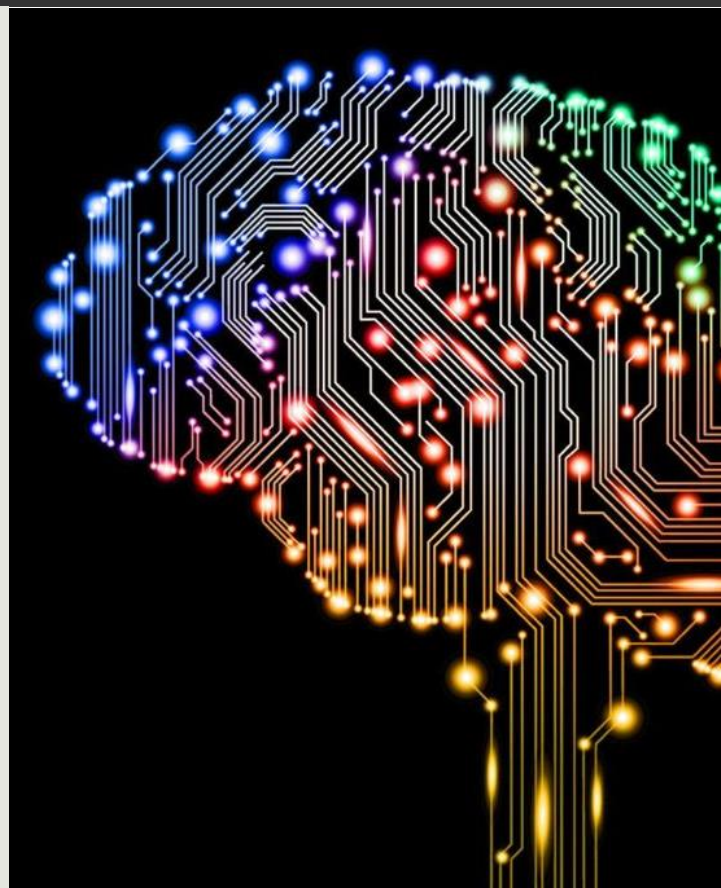
- EU の技術と産業の能力と経済全体の AI の取り込みを後押し
 - 年間200億ユーロを目指して
 - より多くのデータを利用可能に
- 投資のインパクトを最大限に引き出す
 - ラボから市場への研究・イノベーションを支援
 - テストと実験、規制サンドボックス
- すべての利用可能な
 - 中小企業や潜在的なユーザーに AI をもたらす

EU ゴール (2)

- シナジーの創出、協力の促進
 - サポートリサーチ・エクセレンス・センター
 - デジタル・イノベーション・ハブ
 - チャリング・ベスト・プラクティスの AI オンデマンド
 - 2018の終わりまでに汎 EU 協調計画
 - ヨーロッパの AI アライアンスが作成される
 - 人工知能の高レベルの専門家グループの52の専門家
- 社会経済の変化に備える
 - 雇用市場の変革
 - 教育
 - AI に焦点を当てる教育
- 適切な倫理的および法的枠組みの確保

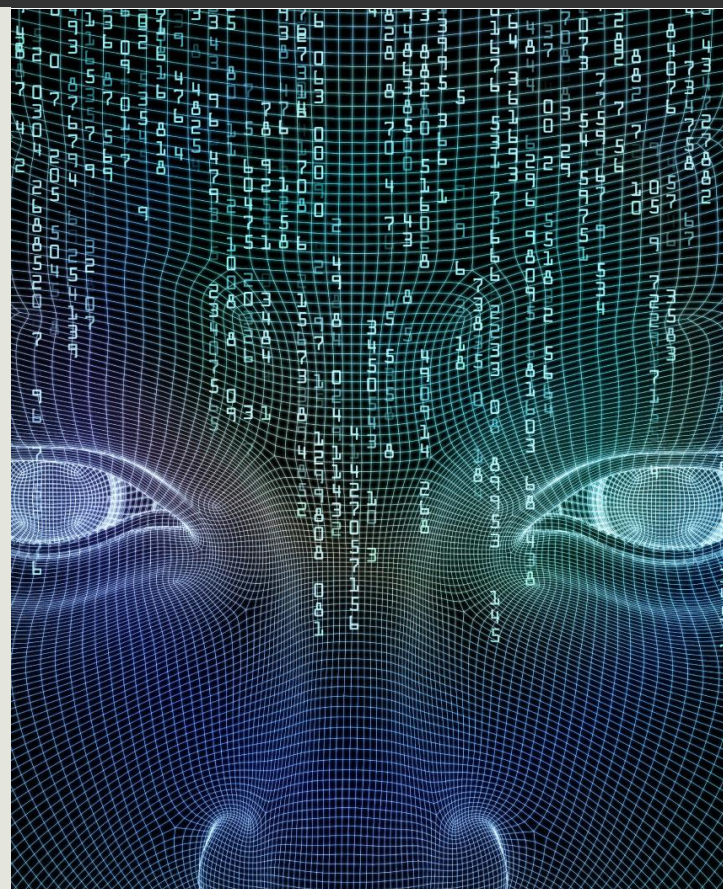
法的なチャレンジ(1)

- これらの技術の信頼と社会的受容を構築するために必要な
- イノベーションと基本的権利
- 個人情報の保護
 - GDPR: 意味のある情報を提供する権利/意思決定にかかわる論理についての説明
- 安全および製造物責任
- 潜在的に偏った意思決定



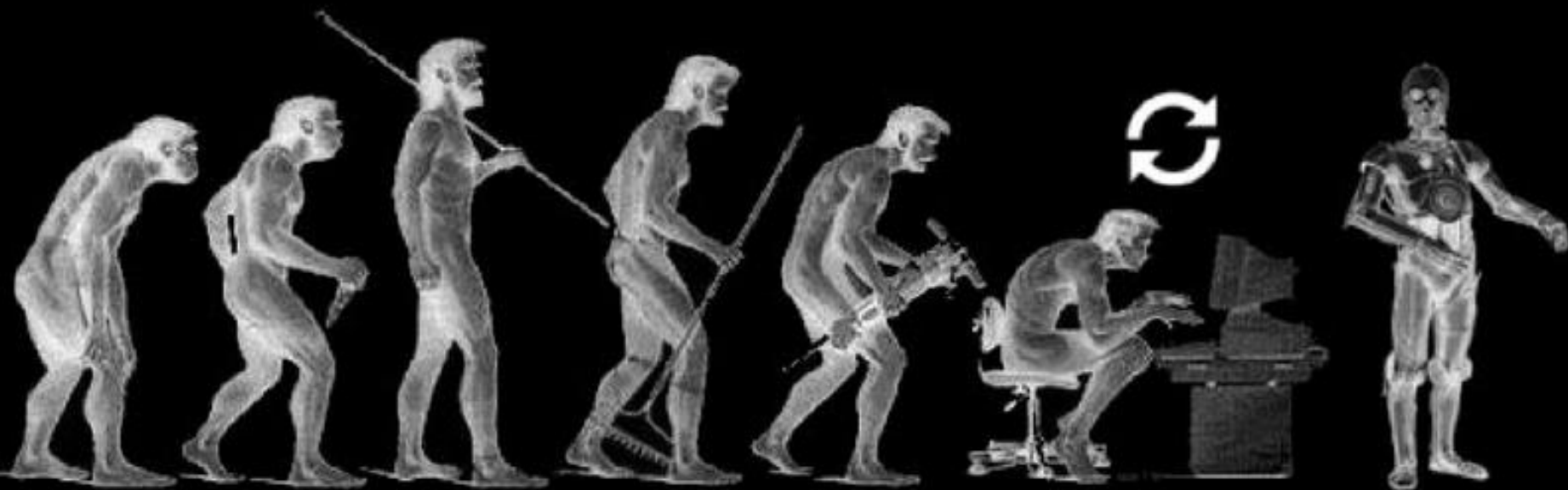
法的なチャレンジ(2)

- 安全および製造物責任
 - EU の安全枠組み、標準化
 - 2019半ばまでに行われる評価、ガイダンス文書およびレポート
- 潜在的に偏った意思決定



レギュレーションの更新

- 公共情報共有に関する指令
- 科学的データへのアクセスと保存に関する勧告
- ePrivacy 規制、非個人データの自由な流れ、サイバーセキュリティ法などの提案
- 2018による倫理ガイドライン、草案
- MSs は、AI 戦略 (フランス、ドイツ、フィンランド) を持っていることを奨励



THANK YOU! Annamaria.osula@guardtime.com